

2012 年度防災教育チャレンジプラン(入門枠実践団体) 活動記録



記入日 2012 年 12 月 10 日

実践団体名		南阿蘇村立中松小学校	
連絡先		0967-62-9403	
プランタイトル		阿蘇五岳のふもと中松～火山との共存～	
		番号*	詳細
1 プランの対象者	3	主に 3～6 年生の取組です。	
2 対象災害種別	1,3,4	阿蘇山の麓ということと、過去の教訓から設定しました。	
3 プランの目的	2,3,6	地域を知るとともに、自然との共存をテーマにしました。	
4 協力・連携先	1,4,7	火山博物館、阿蘇ジオパーク推進局と連携しました。	
5 プログラムの種類	3,13,15	国際ユネスコ会議や学習発表会等で発信しました。	
参考先進事例	活動年度	2007 年	団体名 大船渡町立綾里小学校
	参考内容	演劇を通して、自然の恵みや災害と向き合って生きてこられた地域の方々の生きる知恵やたくましさについて住民の方に訴えることの意義について、参考にさせていただきました。	

※ 赤枠は別紙「記入上の留意点」の各項目から選択し、記入してください。

地域特性に応じたアレンジ・工夫点	阿蘇の地域の自然や歴史を調べることを通して、自然のすばらしさとともに災害についても向き合うことの重要性を訴えるよう心がけました。
実施スケジュール内容・成果*	<p>5 月：長崎県島原市でのジオパーク国際ユネスコ会議で発表 ⇒自分たちの住む南阿蘇の湧水群のすばらしさを世界に向け発信する。</p> <p>5 月：水害避難訓練の実施 ⇒身近な地域の危険性について知り、大雨時の危険箇所を点検する。</p> <p>6 月：長崎修学旅行で災害についての学習 ⇒同じ火山を身近に持つ意味で、火山に伴う災害について知る。</p> <p>8 月：阿蘇の世界ジオパーク登録に向けて ⇒校区に来られた現地審査の方々を歓待し、湧水群について説明する。</p> <p>10 月：昭和 28 年に起こった大水害のことを地域の長老から学ぶ ⇒過去に校区で起きた甚大な被害をもたらした水害について聞き取る。</p> <p>11 月：阿蘇火山博物館及び阿蘇の現地学習 ⇒火山のしくみや災害等について、博物館の学芸員の方から学ぶ。</p> <p>12 月：学習発表会での地域への発信 ⇒地域の方から聞き取った水害からの教訓を劇にして発表する。</p>
全体の反省・感想・課題	阿蘇の大自然の恵みに感謝しつつも自然災害とも紙一重の所に住んでいることを自覚できた。今後、学んだことをより多くの場所で、多くの人々に発信していきたい。
今後の継続予定	学んだことを多くの場所で演劇により訴えるとともに、紙芝居にまとめて、これからもずっと語り継がれていけるよう取り組んでいきたい。

2012年度防災教育チャレンジプラン(入門枠実践団体) 活動記録



※ 写真の添付など、枠内に収まらないときは裏面自由記述欄を使用してください。

自由記述欄 (必要に応じ、具体的な活動記録を自由様式で補足添付することが可能です。頁数自由)

【5月13日(日)】ジオパーク国際ユネスコ会議への出席



長崎県島原市で行われた第5回ジオパーク国際ユネスコ会議子どもフォーラムで、5年生23名が発表した。4年生の頃から総合的な学習の時間を使い、校区にある5つの湧水の仕組みや水質、生き物などを調べ、火山からの恵みの部分を世界に向けて発表した。前日は、眉山の麓の災害避難施設である新湊集合施設に泊まり、災害時の宿泊体験もした。

【5月9日(水)】水害避難訓練の実施



大雨時における本校の危険性について、知らせるとともに、児童の下校に職員が付き添い、増水の際の危険箇所等について、確認し指導を行った。

また、本校区は、過去に甚大な被害をもたらした水害を経験しており、その教訓から学び、伝えていくことの大切さについても学校長から児童に話があった。

【6月2日(土)】長崎修学旅行での災害についての学習



6年生の修学旅行では、長崎県島原市の雲仙岳災害記念館を訪れた。本校区も阿蘇山の麓にあり、同じ活火山を持つ地域に住むという点で、子どもたちは、真剣に火砕流の跡などを観察していた。島原での災害の教訓を風化させることなく、自分たちの問題としても考えるよい機会となった。記念館では、火砕流や土石流を疑似体験することもでき、見て触れてリアルに体感しながら分かりやすく学習できた。

【8月22日(水)】阿蘇の世界ジオパーク登録に向けての活動



世界ジオパークへの登録に向けた現地審査が行われ、地元の水源で、日本ジオパーク委員会の選考委員に対して、湧水群のすばらしさを伝えた。児童たちは、パネルを使ったクイズ形式の質問やオリジナルソングも披露した。選考委員が帰られた後、児童の一人は「説明はうまくできた。世界ジオパークに認定されたらいいな。」という感想を話していた。

2012 年度防災教育チャレンジプラン(入門枠実践団体) 活動記録



【10月5日(金)】水害についての聞き取り



昭和28年6月26日に起きた水害では、旧白水村では死者26名、行方不明18名を出す大災害となった。当時、家族や家を失い、そこから立ち上がってこられた地域の長老の方2名から合計10回に及ぶ聞き取りを行った。そこから水害に対する備えの必要性や人命の尊さ、そして、災害を乗り越えてこられたたくましさを学ぶことができた。聞き取りから学んだことをまとめて、水害についてのオリジナルの劇作りを行った。

【11月7日(水)】阿蘇火山博物館及び阿蘇の現地学習



阿蘇火山博物館の職員の方の案内で、博物館内で映像や実験により火山の仕組みや火山による災害のことを学んだ。その後、現地学習を行い、火山により形成された阿蘇の土地の作りについて、地層や岩石を通して学んだ。児童は、阿蘇の土地の仕組みを知ること、どんな火山による災害が起こり得るのか、それに備え、どんなことに気をつけたらいいのかについて考えることができていた。

【12月1日(土)】学習発表会で地域への発信



水害について、地域の長老から聞き取り、学んできたことを劇にして、学習発表会で保護者や地域の方々に発表した。自分たちの住む地域が水害に対して備えておいたり、早急な避難が必要なことを地域の方々も改めて再認識することができていた。子どもたちによる水害の学習はこれまでなされておらず、保護者や地域の方々にも忘れかけていた水難について考えるよい機会となっていた。

2012年度防災教育チャレンジプラン(入門枠実践団体)

活動記録 記入上の留意点



活動記録の作成にあたり、赤枠の項目について、以下を参照し該当番号を記入し、具体名称等を詳細欄に記入をお願いします。

「その他」を選択した場合は、詳細欄に具体内容を記入してください。

1. プランの対象者について (複数選択可)

項目		項目		項目	
1	幼児・保育園児・幼稚園児	8	教職員・保育士等	15	高齢者
2	小学生(低学年)	9	保護者・PTA	16	海外
3	小学生(高学年)	10	地域住民	17	防災関係者
4	中学生	11	社会人・一般	18	全ての人々
5	高校生	12	女性	19	その他 ()
6	大学生	13	障がい者		
7	外国人留学生	14	養護学校児童生徒		

2. 対象災害種別について

項目		項目	
1	地震	5	不審者・犯罪被害
2	津波	6	火災
3	水害	7	災害全般
4	火山噴火	8	その他 ()

3. プランの目的について

項目		項目	
1	遊び・楽しみながらの防災	6	防災に関する知識を深める
2	防災に役立つ資料・材料づくり	7	技術を身につける
3	災害に強い地域をつくる	8	防災意識を高める
4	災害を想定した訓練	9	災害対応能力の育成
5	災害を疑似体験	10	その他 ()

4. 協力連携先

項目		項目	
1	学校・教育関係	6	企業・産業関連の組合等
2	同窓会組織	7	ボランティア団体・NPO法人・NGO等
3	保護者・PTAの組織	8	職業、職能団体
4	地域組織	9	学術組織、学会等
5	国・地方公共団体等	10	その他 ()

5. プログラムの種類について (複数選択可)

項目		項目		項目	
1	イベント・行事	7	学校内クラブ活動	13	体験学習
2	講習会・学習会・ワークショップ	8	その他学校内での時間	14	読書・絵本・読み聞かせ
3	講演会・シンポジウム	9	校外学習・移動教室	15	演劇
4	総合的な学習の時間	10	家庭学習	16	避難・防災訓練
5	教科学習	11	出前授業	17	その他 ()
6	学級活動	12	研究		